

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 13 日 (17:00 ~ 20:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	2人	0人	12人

前回の改善計画	
●利用開始直後のカンファレンスは1週間後を目安に取り組む。 ●カンファレンス結果を基に計画作成担当者と利用者担当職員と一緒に家族との面談を行うことで本人・家族との関係作りに努める。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
●利用開始前の情報共有は全員ができており、概ね1~2週間後のカンファレンスも実施できているが、細かな情報が少ないケースもみられる。 また、実際に利用いただいたうえでの状況も踏まえ、現実に応じた効果的な内容となっている。 ●担当職員である事をしっかりとPRさせて頂いている。介護者の話を傾聴し思いに寄り添う姿勢を大切にさせて頂いている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	5	1	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	8	1	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	5	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	5	4	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●利用開始前の情報共有については、担当職員を中心に伝達に努め、初回利用がスムーズに開始できるよう配慮している。 ●利用前の情報把握では、不明点を計画作成担当者や利用者担当に質問するようにしている。 ●感じの良い挨拶を行う。また、初期の段階では特に会話を多くできるよう心掛け関係構築に努めている。 ●利用開始時は、本人・家族の要望を第一に考え接している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
●担当職員と家族との面談は、担当国会議に限られることが多い。 ●自分なりにできているつもりでも、言葉や情報の把握において足りない部分もあると思う。 ●利用者の反応を見ながら慎重になってしまうことがある。 ●初期支援では積極的に関わってはいるが、業務もあり、関わる時間が十分とはいえない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●初回カンファレンスが1~2週間では、細かい情報が集まりにくいいため、初回カンファレンスは1ヶ月後の開催とする。但し、支援内容の追加・変更は随時行なっていく。 ●書類上での情報共有や、当日勤務者だけでのカンファレンスでは、全員が細かい部分での情報把握が難しいため、全員参加の部署会議(毎月定期開催)で新規利用者のカンファレンス時間を設ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 13 日 (17:00 ~ 20:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	9 人	2 人	0 人	12 人

前回の改善計画
●ケアプラン、介護計画書を全職員がきちんと理解する (曖昧な点はケアマネへ確認する)。 ●定期カンファレンスでは生活歴や家族からの情報、本人との関わりの中での事実だけを抽出できるように取り組む ●必要時は業務改善を行い、利用者ケアへの対応を見直す。
前回の改善計画に対する取組み結果
●曖昧な点は、随時ケアマネへの確認ができている。 ●本人との関わりの中で情報を聞きだすようにしている。また、職員間での共有にも努めている。 ●利用者の想いに応えるために、食事提供方法・時間、環境設定等、複数の業務改善に繋がった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	4	7	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	5	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	10	2	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	6	3	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	●介護計画書の意義、取り組みは理解できており、目標達成に向けて全職員周知して取り組んでいる。 ●本人に対しての気づきは、毎日の夕礼、要望シート、職員連絡ノートを利用することで、次回以降の対応に活かしている。 ●利用初期の段階は送迎時や連絡帳を利用し、対応や様子についてできるだけ詳細を家族に報告させて頂いている。その上で本人、家族からの意向を確認し次回に活かすよう心掛けている。 ●初回利用後はケアマネが訪問や電話で自宅を訪問、振り返りを行ない次回に活かしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	●ミーティングやカンファレンスで見直した対応方法が、統一が図られるまでに時間が掛かることがある。 ●利用者全ての方に対して、本人の目標が正確に理解できているか不安がある。 ●援助目標を実施できない日もある。 ●日々の関わりについて、関わる時間が少ししか作れないこともあり満足はしていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	●担当利用者以外への関わり・意識が希薄になりがちのため、定期的な担当変更を実施する。 年 1 回担当見直しの打ち合わせを実施。(管理者、ケアマネ、介護主任により状況に応じて実施) ●記録を見なかったり、間違った認識で覚えることもある為、部署会議で情報共有の時間を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 13 日 (17:00 ~ 20:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	5 人	1 人	12 人

前回の改善計画

- 全職員に対し面接技術の研修、学習会を実施し、アセスメント能力の向上を図る。また、生活歴 10 個以上の把握を行い、情報収集点共有に取り組むように意識改革を図る。
- 利用者との関わりを優先した業務となるよう見直しを行なう。また、利用者との関わりに関するアンケートを実施前後で行い効果の検証を行なう。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 面接技術の学習会は DVD を用いた個別の接遇研修のみとなり、面接技術は実施できなかった。全利用者の生活歴 10 個以上の把握は利用者の入れ替わりが多い中で、ハードルの高い目標となってしまうていた。
- 利用者に合わせて業務改善は実施できた。気が付いた職員が声に出し、毎月の部署会議で皆で話し合いを行い改善に繋げることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし」が 10 個以上把握できていますか?	0	1	8	3	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	6	2	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	8	1	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	5	1	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	7	1	0	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 本人の状態、体調に留意した関わり方や対応は、当日責任番へ情報を集めることにより、即時的な指示と共有が計られている。小さな気づきや疑問も声に出せる雰囲気ができている。
- ミーティングでは本人の言動以外の部分での様子や身振り等で感じたことも発信している。
- 気づきや疑問は一人で判断せずに、他職員と共有し判断、対応している (共有する機会が多くある)。
- 利用者の気持ちに寄り添い、本人の気持ちを想像しながら対応している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 全職員に対しての、アセスメント能力向上を図る機会が設けられていない。
- 全ての利用者に対し生活歴 10 個以上の把握ができていない。(細かいところまで把握できていない)
- 忙しいと気づく余裕がない時もある。
- 初回のアセスメント以外で生活歴の理解を深める働きかけが不十分。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- プラン見直しの際、担当職員が生活歴や以前の暮らしについての情報を集めるアンケートを実施する。
- アセスメント能力向上のための学ぶ機会を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 13 日 (17:00 ~ 20:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	7 人	5 人	0 人	12 人

前回の改善計画

- 本人に関する情報を得た際は、カルテ記録に残すと共に連絡ノートを利用し職員へも周知を図る。
- 地域資源に関する学習会を開催し、知識と関心を持てるように取り組む。また、地域活動・イベント情報・会議記録等の報告は確実に全員に回覧し周知する。
- 可能な範囲で管理者、ケアマネ以外の職員も地域との関わりを持てるように取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 本人と地域との関係や情報を得た際は、随時職員への周知、共有が図られている。
- 地域資源への情報収集に努めている。民児協会議への参加も決定し今後はさらに必要な情報を得られると考えている。必要な文書は常に回覧または連絡ノートにて周知が図られているが活用されていない。
- 介護スタッフも委員となり、地域連携委員会の立ち上げを試みたが機能させることができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	7	5	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	7	3	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	5	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	8	3	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 地域活動や地域での関わりについては、積極的に外へ出て行こうとする姿勢で取り組んでいる。
- ケアプランにおいても、地域との関わりを継続できるような視点を取り入れ作成するよう努めている。
- 本人との関わりや送迎時での家族情報から、地域との関わり、関係を探るようにしている。
- 馴染みの食事会や発表会への参加や主治医への受診支援も行なっている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 地域資源についての情報が不足している。
- サービス提供における際の本人だけに注目し、自宅での生活について把握しきれていないのが現状。
- 生活歴や利用日以外の様子の把握ができていない。
- 地域資源の活用方法は管理者、ケアマネに任せており、情報共有にとどまっている。
- 利用者居住地別の民生委員が把握できていなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 生活スタイル、人間関係の把握、共有についてケアマネ、担当職員が中心になり情報量向上に努める。
- 運営推進会議メンバーに地域の有識者として新たな参加者を依頼し (複数の民生委員、町内会長、コミセン代表等)、情報量の確保に努める。また、得た情報は積極的に活用させていただく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 13 日 (17:00 ~ 20:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 人	4 人	1 人	12 人

前回の改善計画

- 地域資源についての学習会を開催し知識と関心が持てるように取り組む。
- 会議記録の方法についての研修会、伝達講習の開催を行い、適切な記録方法の習得を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 学習会は開催せず。より多くの情報把握に努めるため、文書回覧とミーティングでの伝達を実施した。
- 法人マニュアルを使用し、個別に研修を実施。また、一部書式の簡素化に取り組み、利用者に関わる時間の確保にも取り組んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	6	2	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	8	0	1	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	7	0	1	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	7	2	0	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 多様なボランティアを活用している。
- 柔軟な対応に心掛けており、必要なサービスが必要な時に利用できるよう努めている。
- 変化への気づきはミーティングや記録により周知、共有できている。
- 日々の気づき（心理・体調面）について職員間で情報共有に努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 地域資源についての知識不足と活用が不十分。
- 記録内容について、職員により中身が不十分な事もあり必要な情報が正しく伝わらないこともある。
- 不規則勤務で、記録から情報を得なければいけないこともあるが本人の変化が読み取れないこともある。
- 直接的なケア業務で精一杯であり、学ぶ時間や機会が持てない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 記録方法について、新しい職員の配属の際は、指導職員や主任による随時の説明、学習を行なう。
- 記録する内容や、方法についての学習会を開催する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 13 日 (17:00 ~ 20:30)

6. 連携・協働

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	10 人	1 人	1 人	12 人

前回の改善計画

- 各種会議や行事、イベント等の参加は介護職で順番に参加できるように努める。
- 町内の回覧板へ事業所広報誌やイベント案内を入れさせていただけるように働きかけを行なう。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 会議やイベントへの参加は全職員が参加、把握できるように調整を行なっているが、全ての職員に行き渡っていない。今後も継続していく。
- 回覧板へは隣の町内に広報誌をスポット的に入れてもらえた。否定的な町内もある為、様々な場へ積極的に参加、交流することにより理解を得られるよう継続し取り組んでいく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	2	3	7	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	3	7	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	2	4	6	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	2	5	4	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 他職種との連携は必要に応じて行なっている。その際の情報共有にも努めている。
- お試し利用等、積極的に受け入れ開かれた施設を目指している。
- 町内会の総会や包括支援センター主催の交流会に管理者以外の職員も参加している。
- 通り掛りの住民から、プランター指導を受けたり、野菜の差し入れをいただくこともある。
- 地域の小学校や保育園との交流がある。また、併設のわいが家との連携も機能している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 管理者、ケアマネ任せになり、積極性に欠けていた。
- 子供を対象とした、施設へ呼び込むための働きかけが少なかった。
- 地域活動への参加がもっとあったほうが良い。情報が少ないのかもしれない。
- 事業所としては行えているが個人としての参加はなく、書面で確認する程度である。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 情報収集に努めると共に、一人でも多くの職員が様々な場へ参加できるような工夫に努めていく。
- 全体的に目の前の利用者ケアでいっぱいになっており、現場職員は外に目を向ける余裕がないのが現状。集めた情報の活用方法を部署会議で提起し、参加者や参加方法について前向きに検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 13 日 (17:00 ~ 20:30)

7. 運営

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	5 人	2 人	12 人

前回の改善計画

- 事業所の取り組みを地域へ紹介すると共に気軽に立ち寄ってもらえるように回覧板を活用する。
- 防災訓練における地域住民からの参加を個別にお願いし協力体制の構築を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 回覧板は一度だけ回していただくことができたが積極的な受け入れとは言い難かった。継続して働きかけを行なっていく。
- 防災訓練は年 2 回開催し、地域住民 2 名の見学と運営推進会議メンバーによる見学もしていただいた。いただいた意見を活かすと共に、継続した働きかけが必要。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	0	4	3	5	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	5	1	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	2	5	2	12
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	2	2	6	2	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 自身の意見は言いやすい環境である。毎月の文章でのアンケート調査や 3 者面談も実施している。
- 運営推進会議で地域の方から出た意見、提案については改善に繋がるよう取り組んでいる。
- 意見・要望や苦情はすぐに改善できるよう、日々のミーティングや報告書で改善に取り組んでいる。
- 地域との協働した取り組みは多いとはいえないが、すぐに対応できる体制はできていると思う。
- わいが家への来館者とは挨拶や会話が增えた。
- オレンジカフェにおいて主体的な役割を担い、地域の一員としての一端を担うことができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 回覧板の活用や防災訓練での地域との協力体制が不十分。
- 地域からの意見や苦情がない。周知されていないということかもしれない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 地域での各種会合に積極的に参加し、協働の可能性を探り実践に繋げる。
- わいが家前の掲示板の有効活用 (行事や取り組み報告等の情報提供や呼びかけ) を行なう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 13 日 (17:00 ~ 20:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	9人	2人	1人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ●年度当初に個別のスキルアップ計画を全職員で作成し、実現に取り組む。 ●地域連携会議には管理者、ケアマネ、現場職員も一緒に参加できるよう配慮する。 ●気づきの視点を持てるように月間を通しての取組みを実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ●全職員による計画作成と面談は実施できたが、実現の達成度には個人差があった。 ●地域連携会議は機能させることができなかった。 ●気づきの視点を持つために、利用者・家族からの要望やヒヤリハットの報告件数増に努めることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	6	4	1	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	5	1	4	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	3	2	7	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	4	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ●年間の研修計画に基づき毎月定期的実施している。基本的には全職員が参加できている。 ●対象となる職員は必要な研修に参加し、有資格者数は増加している。但し、スキルアップのための研修参加は参加職員に偏りがあるのが現状。 ●地域で行なわれる会議、交流会には必ず参加している。管理者が主ではあるが現場職員も順に参加できるように努めている。 ●ヒヤリ報告や要望・気づきシートの活用により即時の改善、共有ができ改善に繋がっている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ●気づきの視点において、職員間での能力差がある。 ●各種研修案内を全職員へ提示しているが、自発的な研修参加に繋がっていない。 ●忘れ物等のヒヤリハットにおいて、時間の経過と共に同じことが繰り返されることがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ●各種団体で行なわれる研修情報をファイル化し、全職員が確認しやすいよう提示していく。 ●毎月の部署会議において、事故・ヒヤリ報告の傾向や対策の効果について話し合う時間を設けることにより、同一事案の再発防止に繋げる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 13 日 (17:00 ~ 20:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	9人	1人	1人	12人

前回の改善計画	●部署会議で話し合いを行う。その上で強化月間を儲け職員ここの意識変化や改善の有無を確認していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	●部署会議での話題に取り上げ、法人による研修会へ全職員が研修に参加した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	2	0	0	12
②	虐待は行われていない	9	3	0	0	12
③	プライバシーが守られている	3	9	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	8	2	2	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	8	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ●人権・プライバシーについては、全職員が年 1 回定期的に参加し繰り返し学んでいる。 ●介護職として常に意識して対応している。 ●尊厳を守るために当然のこととして取り組んでいる。言葉使いにも気を付けている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ●忙しさから、つい言葉での制限 (ちょっと待っていて下さい。だめです等) をしていることがある。 ●職員同士で個人情報を話していたことがある。 ●ちょっとした気の緩みから声の大きさなど配慮できていない時がある。 ●カルテの記入時に利用者の近くで広げていることがあり、個人情報が目につくこともあるかもしれない。 ●成年後見制度を活用しているかの有無を把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ●ミーティングや部署会議等で振り返りを行う機会を設け、職員個々の意識向上に努める。 ●部署会議で行っている利用者状況の確認において、現在使用している一覧表へ成年後見制度や権利擁護事業等の活用状況についても記入し、制度説明も行うことで全職員が把握できるように努める。 	